

令和2年度 第2回浜松市環境影響評価審査会 会議録

- 1 開催日時 令和2年11月2日(月) 午後1時30分から午後2時40分
- 2 開催場所 シルバー人材センター2階 大会議室
 ※本会議はWeb会議方式にて開催した。Web会議出席者は「3出席状況」のとおり。

3 出席状況

審査会委員

-	磯村 克郎	静岡文化芸術大学 デザイン研究科 教授	
-	岡島 いづみ	静岡大学 工学部 准教授	
Web	岡田 恭明	名城大学 理工学部 教授	
○	加須屋 真	常葉大学 社会環境学部 非常勤講師	
Web	北村 亘	東京都市大学 環境学部 准教授	
Web	木寄 暁子	静岡大学 理学部 准教授	
Web	小杉山 晃一	常葉大学 社会環境学部 准教授	
Web	酒井 奨	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 主管研究員	
Web	坂田 昌弘	静岡県立大学 食品栄養科学部 名誉教授	
○	土屋 智	静岡大学 農学部 名誉教授	副会長
○	平井 一之	一般社団法人 静岡県環境資源協会 専務理事	会長
-	宮崎 一夫	遠州自然研究会 事務局長	
Web	向井 貴彦	岐阜大学 地域科学部 准教授	
Web	横田 久里子	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授	

事務局

環境政策課	藤田環境部次長(環境政策課長)、鈴木課長補佐、辻副主幹、今井主任、内山主任
-------	---------------------------------------

説明者

事業者	株式会社シーテック (2名)
	一般財団法人日本気象協会 (3名)

- 4 傍聴者 1名(報道1名を除く)
- 5 議事内容
 (仮称) ウインドパーク天竜風力発電事業環境影響評価方法書 浜松市長意見について
- 6 会議録作成者 環境政策課企画調整グループ 内山主任
- 7 記録の方法 発言者の要点記録
- 8 会議記録 有(公開)

1. 開会

2. 議事 会議の成立、会議の公開について

事務局（藤田次長） 《配布資料確認》

配布資料の席次表について、宮崎委員が出席予定であったが欠席となったため訂正をお願いする。本日は会場にて3名、各職場等からWebで8名、併せて11名の出席をいただいております。過半数に達しているため、浜松市環境影響評価条例第60条第2項により、審査会が成立する。

これからの議事進行については、浜松市環境影響評価条例第60条第1項により「会長が会議の議長となる」こととなっているため、平井会長をお願いします。

平井会長 それでは、よろしくをお願いします。

はじめに、会議及び会議録の公開についてであるが、本日の審査会では、調査地点等の審議において希少な動植物の生息・生育地に関連する情報を取り扱う可能性があるため、その部分は貴重種の保護の観点から非公開審議としたいがいかがか。

全委員 （異議なし）

平井会長 了承いただいたので、本日の会議は一部非公開とする。

また、本日の会議録は、事務局で作成し、浜松市附属機関の会議録の作成および公開に関する要綱に基づき、公開することとする。

（仮称）ウインドパーク天竜風力発電事業 環境影響評価方法書 浜松市長意見について

平井会長 それでは、議事に入る。（仮称）ウインドパーク天竜風力発電事業 環境影響評価方法書について、まず事務局から本日の審議内容について説明をお願いします。

事務局 《経過説明》

平井会長 ただ今の説明について、ご意見・ご質問をお願いします。

全委員 （質問なし）

平井会長 続いて、事業者である株式会社シーテックに対して、追加のご意見・ご質問をお願いします。

坂田委員 参考資料「庁内照会・審査会委員意見」の1番について、事業者からの回答にわからないところがある。「ばいじんで予測しても指針値に比べ十分に低いことが通例であるため、大気質の評価項目として挙がっていない」とあるが、これの主語が分からない。

事業者 浮遊粒子状物質（以下SPM）が評価項目としてあがっていないということである。

坂田委員 「粉じんにつきましては」とあるが、粉じんとは何か。その上に記載のある、ばいじんとは違うのか。

事業者 言葉の使い方の問題で、表現が混ざってしまった。

坂田委員 誤解を受けないような表記に修正していただきたい。
次に、窒素酸化物（以下NO_x）が評価項目となっているが、どういう理由で評価項目としたのか。この文章から見ると、粉じんについては「大型車両や建設機械の排ガスからの物質の影響評価のためでなく」と理由がかいてあるが、NO_xはどういう理由で評価項目にしたのかが理解できない。

事業者 SPMと比較するという趣旨でこの表現で記載した。NO_xについては、大型車両や建設機械から出てくるものとして対象としている。

坂田委員 通常の感覚だと、排ガスの有効な評価項目としてNO_xとSPMは普通両方入る。ガスだけでなく非常に小さな粒子状のものも対象となる。SPMを評価項目とせずに、NO_xだけを評価項目としているのには理由はあるのか。

事業者 項目を選定する際には手引きを参考にしているので、そちらを基に設定した。SPMについては、こちらに記載した通りばいじんでは評価することとした。

坂田委員 手引きに従ってやっているということであれば仕方ないと思うが、私の常識からすると、SPMとNO_xはペアで評価すべき。SPMは環境基準もあり非常に重要な指標であると考えます。

平井会長 地域住民から新しく懸案事項等は出てきているか。

事業者 今のところない。私どもが調査を行う場所や手法、期間等の内容について事前に地元で説明するための準備を行っているところである。その中で質問があるようであれば、準備書までに整えて回答するようになる。

加須屋委員 方法書のP73表(3)にあるベニモンカラスジミの記載について、④「まもりたい静岡県の野生生物（県版レッドデータブック）動物編」の欄が空欄になっているが、EN（絶滅危惧IB類）ではないか。

事業者 確認させていただく。

加須屋委員 方法書P236表(2)の昆虫類について、広葉樹林・針葉樹林の欄に「ツマジロウラジャノメ本州亜種」と記載があるが、どうしてここに区分されたのか。本来、崩壊地や道路の法面などの環境に生息している。今言ったような環境の区分が無いから広葉樹林・針葉樹林に区分しているのか。どうしてもどこかに入れるとしてもここではないと思うので、検討してほしい。

事業者 環境類型区分については、環境省の植生図を基にしている。生息する場所、環境を調べて分類しているが、ご意見を踏まえて検証し、修正させていただく。

平井会長 事業者への意見が出そろったようなので、これで事業者への質疑は終了とする。

事業者 《事業者退室》

平井会長 それでは、（仮称）ウインドパーク天竜風力発電事業環境影響評価方法書に対する浜松市長意見について、事務局から説明をお願いします。

- 平井会長 　　他の項目にも関わってくるという流れを作っておくというのが、皆さんの意見だと思うので、全般事項で触れるようにしたい。
- 北村委員 　　全般事項に入れることは良いが、鳥類の観点では累積的影響は特に重要であるので、強調するという意味で個別事項にも残していただきたい。
- 事務局 　　検討する。
- 坂田委員 　　廃棄物等について、建設残土が自然由来の重金属により汚染されている可能性がある」と記載があるが、何がどのあたりに分布しているのか、事前に調査して把握しているのか。また、環境影響を具体的にどのように予測評価するのかわからない。
- 事務局 　　重金属については、整理されたデータがあるので調べることは可能である。意見として述べた趣旨としては、ひ素を含む残土が相当量出ることが想定され、事業実施区域内で積んでそのまま管理するという計画になっており、降雨などでひ素が流失して下流河川に影響が出ることなどを避ける必要があるため、このような意見を述べた。
- 坂田委員 　　建設残土の中にひ素がどれくらい入っているかというのを把握しているか。基になるデータが無いと評価できないのではないかな。
- 事務局 　　調査については、ボーリング等の調査を行うという方向になる。
- 坂田委員 　　今後そういった調査をおこなうということか。
- 事務局 　　調査の実施を含めた意見である。わかりにくいようであれば文言を修正する。
- 坂田委員 　　原案の文章で良い。
- 横田委員 　　廃棄物等の意見について、供用後のことを記載しているように読めるが、工事中の適切な土砂管理は、この中に含まれるのか。水質のところには「工事中及び供用後の影響について」とあるので、こちらにも必要ではないか。
また、水質の意見として、飲料水としての水質だけではなく、周辺の生態系への影響を評価する必要があると考えるがいかがか。
- 事務局 　　廃棄物等に関しては、ご意見の通りであるので、文言を追加する。
水質に関しては、「飲料水等」としており、自然物も含むものとして読むことはできる。
- 酒井委員 　　水質についての意見の文章は、主語が「地域住民」となっているので、生態系に対する水資源とは違うものになるのでは。
- 事務局 　　横田委員にお伺いしたいが、2水質 に生態系に関する水資源の意見を追加するのか、4動物・植物・生態系 のところの文言を修正するのとどちらが良いか。
- 横田委員 　　他の市長意見では、水質に人の環境と生態系の環境をセットにしてきた。全体の中で記載されているということで皆様がよろしければ、4の（1）の表現で良いと考える。
- 事務局 　　参考1として、配慮書に対する市長意見として出したものをつけさせていただいた。

こちらでは「開発により下流河川の汚濁や土砂流失が懸念されることから」ということで、河川の水質についても盛り込んだ意見となっているので、水質の意見の中で、利水に加えて環境水についても触れられるように調整を行う。

横田委員

願います。

もう一点、他事業との累積影響についてであるが、河川の右岸・左岸の両方で計画されているので、そちらについても意見を述べておきたい。

事務局

河川というのは、天竜川ということでよいか。

横田委員

方法書 P21 の地図を見ると、天竜川の右岸・左岸で事業計画があるので、この近隣では複合的な影響評価は重要であると考えている。

事務局

検討させていただく。

平井会長

意見が出そろったようなので、本日の審議はここまでとする。委員の皆様には円滑な議事進行にご協力いただき、お礼申し上げます。

5. 閉会

事務局（藤田次長）

事務局から、今後の予定について連絡させていただく。

事務局

本日の議事について、追加のご意見・ご質問等ある場合は、11月6日（金）までに事務局まで願います。

いただいた意見等を踏まえ本日提示した市長意見（案）を修正する。

また、次回の審査会について、時期は未定であるが今年度末～R3年度はじめに開催が想定される。図書提出のスケジュールが決まり次第、日程調整させていただく。

5. 閉会

事務局（藤田次長）

本日は、長時間にわたりご審議いただくとともに、貴重なご意見を賜わりお礼申し上げます。以上で本日の環境影響評価審査会を終了とする。